

HP Operations Orchestration 10.x

Windows および Linux オペレーティングシステム

OO HP Solutions コンテンツパックバージョン1.6.0

リリースノート

ドキュメントリリース日: 2015年9月
ソフトウェアリリース日: 2015年9月



ご注意

保証

HP製品、またはサービスの保証は、当該製品、およびサービスに付随する明示的な保証文によってのみ規定されるものとします。ここでの記載は、追加保証を提供するものではありません。ここに含まれる技術的、編集上の誤り、または欠如について、HPはいかなる責任も負いません。

ここに記載する情報は、予告なしに変更されることがあります。

権利の制限

機密性のあるコンピューターソフトウェアです。これらを所有、使用、または複製するには、HPからの有効な使用許諾が必要です。商用コンピューターソフトウェア、コンピューターソフトウェアに関する文書類、および商用アイテムの技術データは、FAR12.211および12.212の規定に従い、ベンダーの標準商用ライセンスに基づいて米国政府に使用許諾が付与されます。

著作権について

© Copyright 2015 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

商標について

Adobe™ は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の登録商標です。

Microsoft® およびWindows® は、米国におけるMicrosoft Corporationの登録商標です。

UNIX® は、The Open Group の登録商標です。

本製品には、'zlib' (汎用圧縮ライブラリ) のインタフェースが含まれています。'zlib': Copyright © 1995-2002 Jean-loup Gailly and Mark Adler.

ドキュメントの更新情報

このマニュアルの表紙には、以下の識別情報が記載されています。

- ソフトウェアバージョンの番号は、ソフトウェアのバージョンを示します。
- ドキュメントリリース日は、ドキュメントが更新されるたびに変更されます。
- ソフトウェアリリース日は、このバージョンのソフトウェアのリリース期日を表します。

更新状況、およびご使用のドキュメントが最新版かどうかは、次のサイトで確認できます。 <https://softwaresupport.hp.com/group/softwaresupport/>

このサイトを利用するには、HP Passportへの登録とサインインが必要です。HP Passport IDの登録は、次のWebサイトから行なうことができます。

<http://h20229.www2.hp.com/passport-registration.html>

または、HP Passport のログインページの [\[New users - please register\]](#) リンクをクリックします。

適切な製品サポートサービスをお申し込みいただいたお客様は、更新版または最新版をご入手いただけます。詳細は、HPの営業担当にお問い合わせください。

サポート

HPソフトウェアサポートオンラインWebサイトを参照してください。 <https://softwaresupport.hp.com/>

このサイトでは、HPのお客様窓口のほか、HPソフトウェアが提供する製品、サービス、およびサポートに関する詳細情報をご覧いただけます。

HPソフトウェアオンラインではセルフソルブ機能を提供しています。お客様のビジネスを管理するのに必要な対話型の技術サポートツールに、素早く効率的にアクセスできます。HPソフトウェアサポートのWebサイトでは、次のようなことができます。

- 関心のあるナレッジドキュメントの検索
- サポートケースの登録とエンハンスメント要求のトラッキング
- ソフトウェアパッチのダウンロード
- サポート契約の管理
- HPサポート窓口の検索
- 利用可能なサービスに関する情報の閲覧
- 他のソフトウェアカスタマーとの意見交換
- ソフトウェアトレーニングの検索と登録

一部のサポートを除き、サポートのご利用には、HP Passportユーザーとしてご登録の上、サインインしていただく必要があります。また、多くのサポートのご利用には、サポート契約が必要です。HP Passport IDを登録するには、次のWebサイトにアクセスしてください。

<http://h20229.www2.hp.com/passport-registration.html>

アクセスレベルの詳細については、次のWebサイトをご覧ください。

http://h20230.www2.hp.com/new_access_levels.jsp

HP Software Solutions Now は、HPSWのソリューションと統合に関するポータルWebサイトです。このサイトでは、お客様のビジネスニーズを満たすHP製品ソリューションを検索したり、HP製品間の統合に関する詳細なリストやITILプロセスのリストを閲覧することができます。このサイトのURLは

<http://h20230.www2.hp.com/sc/solutions/index.jsp>です。

目次

概要	5
新機能	5
機能拡張	5
コンテンツパックの統合	8
HP Solutions コンテンツパックのデプロイ	10
修正された不具合	11
既知の問題	12
制限	12
サードパーティの制限	12

概要

本ドキュメントでは、HP Operations Orchestration HP Solutions コンテンツパック 1.6.0 リリースの概要について説明します。マニュアルやオンラインヘルプに記載されていない重要な情報が含まれています。

このリリースでは、次の言語がサポートされます。

- en - 英語
- fr - フランス語
- de - ドイツ語
- ja - 日本語
- es - スペイン語
- zh_CN - 簡体字中国語

HP Solutions Content Pack 1.6.0 は累積的なコンテンツパックです。

新機能

Operations Orchestration 統合

- 「Samples」フォルダーに、新しいサンプルフロー「Launch flow with HTTP Cookies and CSRF token」が追加されました。この新しいフローの目的は、「**HTTP Client v2**」オペレーションを使用し、useCookies オプションを 'true' に設定することで、HTTP セッションを作成する方法を説明することです。このフローは、CSRF 保護が有効になっている 00 Central インスタンスに対する、HTTP REST 呼び出しを作成する方法についても説明します。フルパスは「/Library/Integrations/Hewlett-Packard/OperationsOrchestration/10.x/Samples/Launch flow with HTTP Cookies and CSRF token」です。

全般

- HP Solutions コンテンツパックには、正常な動作を実現するために、HP Solutions コンテンツパックとともにデプロイする必要があるコンテンツパックについての情報も追加されました。コンテンツパックの依存関係情報は、HP Operations Orchestration のバージョン 10.50 以降に表示されません。

機能拡張

Operations Orchestration 統合

- 「Operations Orchestration/10.x」フォルダーのフローとオペレーションは、OO Central で提供される CloudSlang 機能と互換性を持つようになりました。フルパスは「/Library/Integrations/Hewlett-Packard/Operations Orchestration/10.x/」です。
- 「**List Content Packs**」オペレーションの returnResult フィールドに新しい情報が追加されました。このフィールドは、JSON 表現による各コンテンツパックオブジェクトに対応する、コンテンツパックのデジタル署名に関する詳細情報から構成されています (Central サーバーのバージョン 10.50 で実行した場合)。フルパスは「/Library/Integrations/Hewlett-Packard/Operations Orchestration/10.x/Content Packs/List Content Packs」です。
- 「**Deploy Content Pack**」オペレーションに、新しい結果 contentPackUUID が追加されました。この結果には、デプロイされたコンテンツパックの UUID が含まれています (Central サーバーのバージョン 10.50 で実行した場合)。以前のバージョンでは、レスポンスは空白のままでした。フルパスは「/Library/Integrations/Hewlett-Packard/Operations Orchestration/10.x/Content Packs/Deploy Content Pack」です。
- 「Database」フォルダーの「**Purge Execution Summary**」オペレーションに、新しい入力 purgeStatuses が追加されました。この新しい入力により、既存の削除機能が強化されます。フルパスは「/Library/Integrations/Hewlett-Packard/Operations Orchestration/10.x/Database/」です。
- 「**Pause Flow Run**」および「**Resume Flow Run**」オペレーションは非推奨になり、「/Library/Integrations/Hewlett-Packard/Operations Orchestration/10.x/Deprecated/」の下に移動されました。この機能は現在、「**Change Execution Status**」オペレーションで使用できます。
注: バージョン 10.50 より前の OO Central Server に対して実行すると、結果 contentPackUUID は空になります。
- 「**Get Content Pack Details**」オペレーションは、特定のコンテンツパックのデジタル署名 (プラットフォームバージョン 10.50 以降) に関する次の追加レスポンスを提供するようになりました。
 - signStatus
 - signedBy
 - trusted
 - warnings
 - certs**注:** このオペレーションをバージョン 10.50 より前の OO Central インスタンスに対して実行すると、指定したレスポンスは空になります。
フルパスは「/Library/Integrations/Hewlett-Packard/Operations Orchestration/10.x/Content Packs/Get Content Pack Details」です。
- 「/Library/Integrations/Hewlett-Packard/Operations Orchestration/10.x/Workers/Remove Workers from Group」の下に「**Remove Workers from Group**」オペレーションが更新されました。指定したワーカーグループが存在しない場合、このオペレーションは失敗するようになりました。
- 「/Library/Integrations/Hewlett-Packard/Operations Orchestration」の下に、「**Dynamically Launch Flow**」オペレーションの新しいバージョンが追加されました。このオペレーションの以前のバージョンは非推奨になりました。新しいオペレーションは、ログレベルフィルタリング、証明書、およびプロキシ設定に関連する機能が強化されています。さらに、新しい入力 socketTimeout が

新しいバージョンに追加され、データ取得までの待機時間を指定できるようになりました。詳細についてはオペレーションの説明を参照してください。

- mediaType 入力が追加され、レスポンス形式 (JSON 配列または CSV 形式のドキュメント) を特定しやすくなりました。また、次の新しいフィルター条件入力も追加されました。
 - endTime
 - endTimeUpTo
 - primaryResultContains
 - stepResultsContain
 - currentFlowIdContains
 - stepIdContains
 - invokedIdsContain
 - workerGroupContains

「/Library/Integrations/HewlettPackard/OperationsOrchestration/10.x/Flow Execution」の下に、新しいフィルター条件が追加されました。新しいレスポンス invokedIdsList も追加されています。

コンテンツパックの統合

次の表に、HP Solutions コンテンツパックがサポートする統合の一覧を示します。

統合名	バージョン
HP 3PAR Web Services API	1.4
HP Application Lifecycle Management	11、 11.50、 11.52
HP ArcSight	6.0c、 6.5c、 6.5 SP1
HP Cloud OS	1、 1.01、 1.1
HP Continuous Delivery Automation	1.1、 1.20、 1.30
HP Data Protector	9.x
HP Fortify	3.50、 3.80、 4.1
HP Insight Control Server Provisioning (ICSP)	7.4
HP Live Network (LN) 統合	1.3.2、 2.1.4、 3.0.1、 3.3.5、 3.4
HP Load Runner	9.10、 9.50、 11、 11.50、 11.51、 11.52、 12.01
HP Network Automation	6.x、 7.x、 9.x (9.20 まで、 および 9.22)、 10.00、 10.10
HP Network Node Manager	7.5、 8.10、 9.0、 9.1、 9.11、 9.23、 10.00、 10.01
HP Onboard Administrator	3.31、 3.71、 4.01
HP OneView	1.0、 1.1、 1.2
HP Operations Manager for Windows	8.x、 9.0
HP Operations Manager for Unix	8.x、 9.0、 9.10、 9.11
HP Operations Manager i (BSM を含む)	9.0、 9.01、 9.10、 9.12、 9.13、 9.20、 9.21、 9.22、 9.23、 9.24、 10.00、 10.01
HP Operations Orchestration: 10.x バージョン	10.0、 10.02、 10.10、 10.20、 10.21、 10.22、 10.50
9.x バージョン	9.0、 9.01、 9.02、 9.03、 9.04、 9.05、 9.06、 9.07

統合名	バージョン
HP Project and Portfolio Manager	7.5.0、 9.0x、 9.1x、 9.21
HP Proliant iLO	iLO - 1.94 またはそれ以上 iLO2 - 1.60 またはそれ以上 iLO3 - 1.26 またはそれ以上 iLO4 - 1.01 またはそれ以上
HP Server Automation Visualizer	該当なし
HP Sitescope	7、 9.0、 9.5、 10.10、 10.11、 11.00、 11.01、 11.10、 11.11、 11.13、 11.20、 11.21、 11.22、 11.23、 11.24、 11.30 (Premium および Ultimate エディション)
HP Universal CMDB	7.0、 8.0、 9.0、 10.0、 10.01、 10.10、 10.20
HP Virtual Connect Enterprise Manager (VCEM)	6.3、 7.x

HP Solutions コンテンツパックのデプロイ

OO プラットフォームバージョン 10.00 以降が、HP Solutions コンテンツパック 1.6.0 をサポートしています。ただし、HP Solutions コンテンツパック 1.6.0 は、既存の OO プラットフォームバージョン 10.50 またはそれ以降にデプロイすることを推奨します。

コンテンツパックのデプロイの詳細については、『Studio オーサリングガイド』の「コンテンツパックのプロジェクトへのインポート」と『Central ユーザーガイド』の「コンテンツパックのデプロイ」を参照してください。

注: HP Solutions コンテンツパックバージョン 1.6.0 は、Base コンテンツパックバージョン 1.5.3 以降に依存します。HP Solutions コンテンツパックバージョン 1.6.0 をデプロイする場合は、Base コンテンツパックバージョン 1.5.3 以降もデプロイする必要があります。

注: コンテンツパックのアンインストール/ロールバックの方法については、『HP OO Central ユーザーガイド』の「前回のデプロイメントへのロールバック」を参照してください。

修正された不具合

修正された不具合の参照番号は、ALM グローバル ID 番号 (QCCR) です。

修正された不具合の詳細については、「HP ソフトウェアサポートオンライン」を参照するか、HP サポート担当者まで直接お問い合わせください。

CR 番号	タイトル	説明
QCCR8C27742	「Schedule Flow」オペレーションを使用してもスケジュールを更新できない	「Schedule Flow」オペレーションを使用して、次のフィールドの値を更新することで、フロースケジュールを更新できます。 <ul style="list-style-type: none">• startTime• endTime• timesToRun• repeatInterval• names• values
QCCR8C27730	「Dynamically Launch Flow」でエラーの詳細がユーザーに伝達されない	「 Dynamically Launch Flow 」オペレーションは書き直され、REST API を使用した新機能を実装しています。以前のバージョンは推奨されません。API から返される新しいエラーメッセージは、コンテキスト固有になっています。

既知の問題

既知の問題の詳細については、「HP ソフトウェアサポートオンライン」を参照するか、HP サポート担当者まで直接お問い合わせください。

HP Onboard Administrator - 信頼されたホストの応答と操作の構成

「/Library/Integrations/Hewlett-Packard/Onboard Administrator/Network/」の下の「**Configure Trusted Host**」フローを実行し、信頼されたホストを有効にすると、OA 上で操作が成功した場合でも応答は失敗になります。このフローの無効化操作は正しく動作しません。

回避策: 信頼されたホストを有効にする前に、マシンの IP アドレスが信頼されたホストのリストに追加されていることを確認してください。

制限

L10N: 日本語 ALM で不具合を作成できない

ALM 統合には I18N のサポートがありません。これは、ALM 11.2 日本語バージョンでは、重大度の値が API によって認識されないからです。

「Local Traceroute」オペレーションが正しく動作せず、 `java.lang.ArrayIndexOutOfBoundsException` で失敗することがある

Windows の `tracert` コマンドは、「/Operations/Network」の下にある現在の Traceroute 関連のオペレーションで予期されている形式の出力を返さないことがあります。その結果、"Request timed out" エラーが発生します。

サードパーティの制限

OneView: 「Get Firmware Drivers List」環境で一部の API 呼び出しが機能しない

HP OneView Integration 1.0: 「/Integrations/Hewlett-Packard/OneView/Settings/Firmware」の下の「**Get Firmware Drivers List**」オペレーションを設定するときに、Operations Orchestration でエラーが発生します。

これはサードパーティ API から生じる制限が原因です。

OneView: 「Get Index Resource List」で query 入力を使用できない

クエリパラメーターは **FILTER param (name="OneViewDomain")** のような構文でなければ使用できませんが、OV ドキュメントでは以下のように記述されています。

クエリパラメーターは URI フィルター言語を基にしています。[...]URI フィルター言語は、"=", "<>", "!="、">", "<", ">=", "<=" の代わりにアルファベットのトークン "OR", "AND", "EQ", "NE", "GT", "LT", "GE", "LE", "LIKE", "IS NULL", "IN" を使用します。

OneView: fields 入力が、結果のフィルター処理を行わない

これはサードパーティ API から生じる制限が原因です。

OneView: filter 入力が原因で、「Get Logical Interconnects List」オペレーションが失敗する

これはサードパーティ API から生じる制限が原因です。

OneView: view 入力が、結果のフィルター処理を行わない

これはサードパーティ API から生じる制限が原因です。

OneView: query 入力が、結果のフィルター処理を正しく行わない

これはサードパーティ API から生じる制限が原因です。

